

2面に掲載されています

中国運輸局

隠岐水産 高校で 船員就職セミナー開催

中国地区内航船対協と協働で

中国運輸局は3月9日、中国地区内航船員対策協議会と協働し、島根県立隠岐水産高等学校において、内航若年船員の就職セミナーを開催した。これは同校では初め

てのセミナーで、これは海洋システム科2年生29名が参加した。

セミナーでは、内航総連が制作したDVD「海を駆ける若者たち」を放映するとともに、中国地方海運組合連合会青年部から「内航海運と内航海運の船員という職業について」紹介。また、当局側からは、内航船員の業務内容などの紹介や海技資格の取得に関する説明を行った。さらに引き続き、内航船員の就労条件などの説明および質疑応答などを実施した。

今回のセミナーの感触について当局側では、「先生方は進路指導に大変熱心で、学生たちもわれわれの説明に熱心に耳を傾けてくれた。離島ということもあり毎年開催することは難しいかもしれないが、たとえ隔年であったとしても、できれば今後もセミナーを引き続き開催していきたい」としている。

参考までに、隠岐水産高校卒業生の船員への就業状況をみると、平成24〜26年度までに通算42名が船員として就職。その内訳は、内航船26名、外航船3名、官公庁船3名、漁船3名、タグボート7名となっており、これらのうちでは内航船への就業者が最も多い。

なお、今回のセミナーに協力した中国地区内航船員対策協議会は、中国地方海運組合連合会、全国内航タンカー組合中国支部、全国内航船主海運組合中国支部、中国運輸局で構成されている。